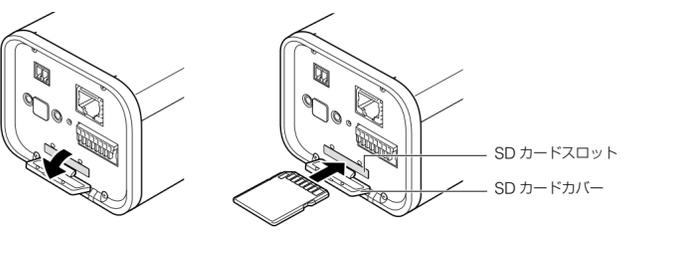


SDメモリーカードご利用の場合

図のようにSDカードカバーを開いて、SDメモリーカードを出し入れしてください。出し入れ後は、SDカードカバーをしっかりと閉じてください。



入れ方

SDメモリーカードをSDカードスロットの奥に突き当たるまで押し込んでください。

取り出し方

SDメモリーカードを奥まで押すと、カードが少し飛び出しますので、指でつまんで引き出してください。

重要

- SDメモリーカードはカメラを設置する前に入れてください。
- SDメモリーカードが、書き込み禁止状態でないことを確認してください。
- カメラで初めて使用するSDメモリーカードは、カメラに入れた後、最初にフォーマットすることを推奨します (『操作ガイド』「設定ページ」の「メモリーカード」参照)。

カメラを設置する

カメラを設置する前に、セットアップCD-ROMの「VB初期設定ツール」を使って、カメラにIPアドレスなどのネットワーク情報を設定してください。

「VB初期設定ツール」の詳しい操作方法については、『操作ガイド』を参照してください。

1 カメラを取付金具に取り付ける

カメラの取り付け用ネジ穴を使用して、カメラを取付金具に固定します。

重要

- 取付金具はお客様で用意していただくか、販売店にご相談ください。
- 取り付け用ネジ穴には、三脚用取り付けネジ (1/4-20 UNC) が適合します。
- 取付金具は、取り付けネジの長さが5.5 mm未満のものをご使用ください。5.5 mm以上のものを使用すると、カメラが破損することがあります。

2 カメラにケーブルを接続する

LANケーブルを接続します。

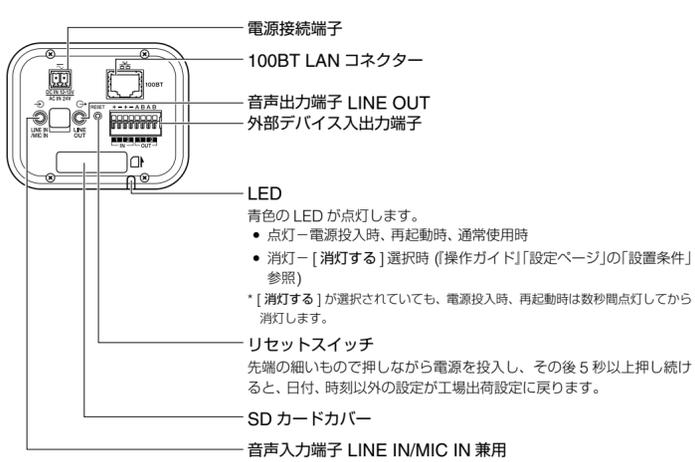
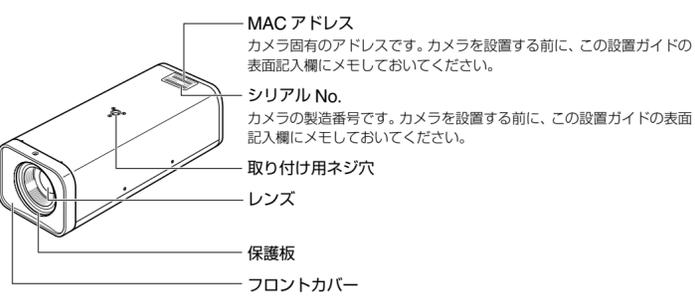
ACアダプター PA-V17 (オプション) や外部電源をご使用の場合は、電源用コネクタとカメラを接続します。

必要に応じて、外部デバイス入出力端子や音声入出力端子にケーブル類を接続します。

3 カメラアングルを調整する

設置が完了したら、セットアップCD-ROMに収録されているカメラアングル設定ツールを利用して、PCからカメラの映像を確認し、手でカメラアングルを調整してください。ズームとフォーカスは、カメラアングル設定ツールで調整できます (『操作ガイド』の「カメラアングル設定ツール」参照)。

各部の名称



- 電源接続端子
- 100BT LAN コネクタ
- 音声出力端子 LINE OUT
- 外部デバイス入出力端子
- LED
 - 青色のLEDが点灯します。
 - 点灯－電源投入時、再起動時、通常使用時
 - 消灯－[消灯する] 選択時 (『操作ガイド』「設定ページ」の「設置条件」参照)
 - * [消灯する] が選択されていても、電源投入時、再起動時は数秒間点灯してから消灯します。
- リセットスイッチ
 - 先端の細いもので押しながら電源を投入し、その後5秒以上押し続けると、日付、時刻以外の設定が工場出荷設定に戻ります。
- SD カードカバー
- 音声入力端子 LINE IN/MIC IN 兼用

カメラを接続する

電源の接続

カメラは、次の3通りの方法で電源を供給できます。

■PoE (Power over Ethernet)

PoE機能を搭載しています。IEEE 802.3af に準拠したPoE対応HUBから、LANケーブルを通じて電源をカメラに供給できます。

重要

- PoE対応HUBやMidspanは、販売店へご確認をお願いします。
- PoE対応HUBによっては、ポートごとに使用電流を制限できるものがありますが、制限をかけると正しく動作しないことがあります。この場合は、制限をかけないでください。
- PoE対応HUBによっては、各ポートの合計消費電流の制限がある場合があり、複数のポートを使用する場合に正しく動作しないことがあります。ご使用のPoE対応HUBの使用説明書をご確認ください。
- カメラとPoE対応HUBを接続するLANケーブルには、カテゴリ5以上の規格に対応した100 m以下のものをご使用ください。
- カメラをスイッチングHUBに接続している場合、動作中に接続を変更するとHUBの学習機能によって通信できなくなることがあります。動作中は接続を変更しないでください。
- PoE対応HUBからの給電状態で、カメラにACアダプター (オプション) を接続することもできます。この場合、PoE給電の状態ではPoE給電が優先され、ACアダプター (オプション) からの給電は使用しません。PoE給電が切断されると、自動的にACアダプター (オプション) から給電されます。Midspan (LANケーブル給電装置) は、PoE対応HUBと同様にLANケーブルを通じてカメラに電源を供給する機器です。

■外部電源

DC 12 V入力・AC 24 V入力が可能です。

同梱の電源用コネクタを、次の図のように接続してください。

DC 12 VまたはAC 24 Vは、AC 100 Vに対して絶縁された電源をご使用ください。なお、DC 12 Vは、無極性で接続できます。

重要

- 電源は以下の電圧範囲内でご使用ください。
- AC 24 Vの場合：電圧変動 AC 24 V ±10%以内 (50 Hz 又は 60 Hz ±0.5 Hz 以内)
 - カメラ1台あたり電流供給能力 1.0 A以上
- DC 12 Vの場合：電圧変動 DC 12 V ±10%以内
 - カメラ1台あたり電流供給能力 1.5 A以上
- DC 12 Vのバッテリー電源でご使用の場合は、必ず電源ラインへ直列に0.5～1.0 Ω/20 W以上の抵抗器を接続してご使用ください。
- 外部電源には二重絶縁構造の機器をご使用ください。

ケーブル (AWG)	24	22	20	18	16
導体径 (mm)	φ0.52	φ0.65	φ0.82	φ1.03	φ1.30
DC 12 V 最大ケーブル長 (m)	5	9	14	23	32
AC 24 V 最大ケーブル長 (m)	11	18	29	46	64

DC 12 VまたはAC 24 Vの配線にはULケーブル (UL-1015 相当品) をご使用ください。

■ACアダプター

カメラの専用ACアダプター PA-V17 (オプション) を利用してください。

メモ

- カメラには電源スイッチがありません。LANケーブル (PoE給電)、ACアダプターや外部電源の電源プラグを抜き差しすることで、電源の入/切をします。
- カメラを再起動する必要があるときは、カメラの設定ページから再起動の操作を行ってください (『操作ガイド』「設定ページ」の「メンテナンス」参照)。

外部デバイス入出力端子

外部デバイス入出力端子には、入力および出力がそれぞれ2系統あり、ビューワーで外部デバイス入力の状態確認と外部デバイス出力の操作ができます (『操作ガイド』の「外部デバイス出力の操作」 「イベントの状態を表示する」参照)。

■外部デバイス入力端子 (IN1、IN2)

外部デバイス入力端子は2端子の組2つ (IN1、IN2) で構成され、一端子は本体内部のGNDに接続されています。+端子と-端子に2線のケーブルを接続し、両端子間を電氣的に導通状態または絶縁状態にすることで、ビューワーに通知します。

重要

- 接続するセンサーやスイッチは、それぞれの電源やGNDと電氣的に分離された端子を接続するようにしてください。
- 外部デバイス入出力端子のボタンを押し込み過ぎないでください。ボタンが戻らなくなる場合があります。

■外部デバイス出力端子 (OUT1、OUT2)

外部デバイス出力端子は2端子の組2つ (OUT1、OUT2) で構成されています。それぞれの組に極性はありません。ビューワーからの制御により、2端子間を導通状態と絶縁状態に切り換えることができます。出力端子は光結合素子を用い、本体の内部回路とは分離されています。

出力端子に接続する負荷は次の定格の範囲内で使用してください。

出力端子間の定格：DC最大電圧 50 V
連続負荷電流 100 mA以下
オン抵抗：最大 30 Ω

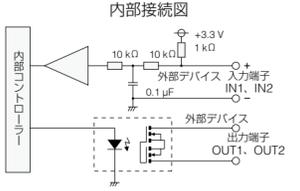
メモ

外部デバイス用ケーブルの適応電線

単線 AWG No. 28～22

導体径 φ0.32～φ0.65 mm

ケーブルのむきしろは約8～9 mmにしてください。



音声入出力端子

音声入出力端子には、入力および出力がそれぞれ1系統あります。

カメラにマイクやアンプ付きスピーカーなどの音声入出力機器を接続すると、ビューワーを通じて、音声の送受信ができます。

■音声入力 LINE IN (ライン・イン)/MIC IN (マイク・イン) 兼用 (モノラル入力)

カメラの音声入力は1系統ですが、ライン・インとマイク・インの2種類のマイクをサポートしています。設定ページから [音声入力モード] を切り換えてご使用ください (『操作ガイド』の「音声入力モード」参照)。工場出荷設定は、ライン・インに設定されています。

入力端子：φ3.5 mmミニジャック (モノラル)

- ダイナミックマイク・イン設定時
 - 入力インピーダンス：1.75kΩ ±20%
 - *対応マイク 出力インピーダンス：400Ω～600Ω
- コンデンサーマイク・イン設定時
 - 入力インピーダンス (マイクバイアス抵抗)：2.2 kΩ ±20%
 - マイク電源：プラグインパワー (電圧：1.8 V) 方式
 - *対応マイク プラグインパワー方式対応コンデンサーマイク
- ライン・イン設定時
 - 入力レベル：最大 1 Vp-p
 - *アンプ付きマイクをご使用ください。

■音声出力端子 LINE OUT (ライン・アウト) (モノラル出力)

カメラとアンプ付きスピーカーを接続します。ビューワーから音声をスピーカーへ送信できます。出力端子：φ3.5 mmミニジャック (モノラル)

出力レベル：最大 1 Vp-p

*アンプ付きスピーカーをご使用ください。

重要

- 「音声入力モード」の設定を間違えて使用した場合、カメラやマイクの故障の原因になりますので、正しく設定してください。
- ご使用のマイクの特性で、音量・音質などが変化する場合があります。
- 映像と音声は、同期しないことがあります。
- ご使用のPCの性能やネットワーク環境によっては、音声が届くことがあります。
- 最大30クライアントに対して、映像と音声を配信できます。ただし、配信するクライアントが多い場合やSSL接続時には、音声が届くことがあります。
- ウイルス対策ソフトウェアをご使用の場合、音声が届くことがあります。
- LANケーブルの抜き差しを行うなどで、通信が一時的に途切れると音声が切断されるので、ビューワーから再接続してください。